

興譲館の梅

【学校教育目標】
やさしく、かしこく、たくましく
笑顔の花咲く 桜っ子の育成
～すべては子ども達の自信のために～

令和8年5月1日 文責：校長

1年生迎える会

4月28日(火)に「1年生を迎える会」を開催しました。1年生と6年生が手をつないで笑顔で花のアーチをくぐっていました。

「桜岡小〇×クイズ」では6年生が作った小学校にちなんだ工夫された問題に、1年生は一喜一憂していました。その姿がとてもかわいかったです。

6年生からのメダルのプレゼントにも大喜びで笑顔がはじけていました。最後は全校みんなで楽しく「さんぽ」を歌い、楽しい迎える会が終了しました。一年生の心に残る会だったと思います。

春の遠足

「1年生を迎える会」の後、これも待ちに待った「春の遠足」でした。縦割り班で小城公園へ行きました。お弁当の後、子どもたちは班ごとに6年生が企画した遊びで思い切り楽しみました。汗びっしょりになっている子もいて、楽しく過ごしたことがわかりました。

小城公園まで遠足？とお感じになる保護者の方もいらっしゃることはと思いますが、昔のように遠くまで歩く訓練のような遠足とは違い(私が20歳代の時に牛津小で学級担任をしていた頃は、牛津から清水の滝まで往復していました!)、子どもたちの親睦を図る目的で行う遠足に変わってきています。その目的は十分に達成できたのではないかと嬉しく思いました。

教員も学びを積み重ねています

先日、校内研究の全体研修会を行いました。

本校は算数科の指導法を研究しており、進んで学びに向かい、自らの力で学び続ける子どもの育成～学びのサイクルを活用した算数科の学習づくり～というテーマで研究を進めています。

左の写真はそのワンシーンですが、研究主任の〇〇先生の説明を他の先生方が真剣な表情で聞いています。

今年は「協働的な学び」から深い学びを目指すことに取り組んでいます。他者(主に友達)を価値ある大切な存在として、ともに学び合いながらそれぞれの学びを深めていく学習です。

この研究の成果を、11月5日(木)に開催される「小城市教育研究大会」で発表いたします。

学習を通じて、「わかった」「できた」というシーンが数多く見られ、子どもたちの自己肯定感や自己有用感が高まっていくために、教職員が一致団結して研究を進めていきます。

ご確認をお願いいたします

保護者の皆様、はなまるアプリでのメッセージは届いているでしょうか？

その確認のために、5月7日(木)午後12時(正午)に、【5月8日(金)尿検査容器の提出について】というメッセージを配信いたします。このメッセージが届かなかった保護者の方は、翌日5月8日(金)の連絡帳でメッセージが届いていないことを担任までお知らせください。よろしくお願いいたします。